



創作ハンドバッグ  
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

秋はあなたの季節  
最高におしゃれを  
楽しむとき



ブラウス  
セーター  
ランジェリー  
ハンカチ

おしゃれを愛するあなたの

**SUGIYA**

トアロード TEL. 33 3436



毛皮の店

ウエタ

元町2丁目 330686



絹屋化粧品店 西店・三宮柳筋 335778  
東店・甲南本通 330250

チャーミングな  
あなたをつくる  
芸夢のセンス



コスチュームアクセサリーの店 神戸店 / トアロード ☎ 8643 2298

芸 げい 夢

大阪店 / 心斎橋ロビー (211) 5153 1044

心斎橋名店街(小大丸ビル) 211 8508



カバン 大上靴店  
ハンドバッグ  
元町通1丁目 TEL ☎ 33962



新古美術

新 播

神戸元町3丁目・☎2516



エキゾチックな  
神戸が生んだ  
ユニークな香り!

男性にも★女性にも★  
ふけ・かゆみ・抜け毛  
整髪にも……

高級ヘヤトニック 〈包装価格〉450円・1,000円

オードコークス

発売元 三星堂 全国有名百貨店・薬局  
神戸 化粧品店にて販売いた  
しております。

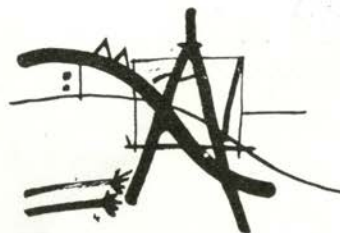


高級紳士服専門店

神戸テーラー

生田区北長狭通 2 (省線高架通50) ☎2817

額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
☎1309・6234



海外旅行 には最も好評な当店の  
完全ノー・アイロンシャツを是非  
ご用意ください。

よろずの襦袢衣縫上處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL ☎2168

センスあふれる  
ベッ甲専門店

TEL ☎6195

元町通1丁目  
太田鼈甲店







秋から冬への  
世界の品々が  
整いました



元町2丁目  
③③4707~8

ハイセンスの  
紳士服で  
最高の  
おしゃれを!

三惠洋服店

元町通4丁目  
TEL ③④7290



千穂庵

神戸元町4丁目 TEL ③④6959



男子洋品の店

コウベヤ

元町2・TEL ③②589



ご贈答に風味豊かなカステラ

## 長崎堂本店

本店・大橋☎0553 元町店☎4130 神戸新聞秀品店取急

フランス菓子 **ビスマルク**

三宮センター TEL ☎3481~3

芦屋店・サンドウィッチパーラー  
そごう店・姫路店・大阪店

神戸名産 **瓦煎餅**

おくりもの、おみやげに

神戸三宮トア・ロード  
本店 ☎1番2番3番  
南店 ☎1616番

クリーム  
ベリタス  
ロールラッキー

地方送り承ります

**亀井堂 本家**

The **Cosmopolitan**  
Valentine F. Morozoff

\*おいしいゼリーもお試し下さい\*

**コスモポリタン**  
チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区堂堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	
新宿ステーションビル地下2階		電話352-2436
千葉駅ビル店	千葉市新町千葉駅ビル名店街	電話 7-2534



おすし  
てんぷら

栄 彌

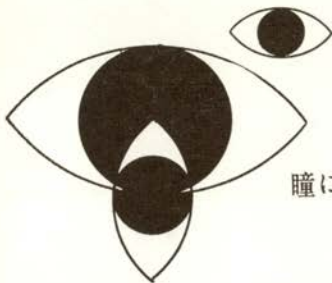
三宮町二・朝日会館前  
TEL ③ 五七七二  
(第一第三日曜お休み)



やっぱりうまい  
むさしのとんかつ

三宮  
ムサシ

でんわ③三七七一  
三二〇八



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361

洋酒の店

キャンテイ

\*Chianti\*

榊 晴夫

TEL (39) 3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE



# 神戸夫人

武田 繁太郎  
え・青木 一夫



ここ半年ほど、矢島夫人が「草絵」なるものに熱中しだしていたことには、さしたる動機もなかった。

さいしよは、仲のいい加藤夫人のすすめで、友田深雪先生作の「草絵」の作品を一枚買ったことからはじまる

普通の色紙に、色のついた和紙を、切ったりちぎったりして貼りつけた、一輪の水仙を描いたその作品は、いかにもセンサイな女性の手で仕上げられたような、えも言えぬ優美さと典雅さとにあふれていて、たいそう夫人のお気に召した。それに、お値段も一枚八百円という手ごろさが、いっそう夫人のお気に召したようだ。

しかし、つづいて二枚、三枚と氣にいった作品をもとめていくうちに、娘時代から多少絵ごろのあった夫人は、なんだか自分でも「描け」そうに思われだし、そし

て、そう思うと、きゆうに「お稽古」してみたくてならなくなった。

きいてみると、友田深雪先生は、須磨の自宅で、お弟子さんもとって、「草絵」の実地指導にあたっていたらしいという。

「ねえ。ちょうどいいじゃないの。あたしたちも習いましよよ」

こんどはアベコベに、尻こみする加藤夫人を誘惑してさっそく友田門下に入門に及んだという次第であった。加藤夫人は、二人の愛児をかかえた、少々多忙な身のうえたが、矢島夫人のほうは、結婚して満七年、いまだに家宝に恵まれぬ、それゆえに、少々さびしくもまた、少々ヒマが過剰気味の毎日であった。

「草絵」のお稽古始めに、加藤夫人がいささか尻こみし矢島夫人がえらく積極的だったのも、その辺の家庭の事情の相違によるらしかったが、しかし、世はあげてレジャー・ブーム時代である。まして、子供からおとなまでお稽古事花盛りのご時世に、加藤夫人も負けてはいられなかった。こういうさいにこそ、日ごろの「恐妻」の権威にかけても、少々の家庭の犠牲ぐらいは、いとうてはならぬのである。加藤夫人も、独断で、敢然と親友の誘惑に乗る決心をつけた。

友田深雪先生の自宅は、須磨の武庫離宮のちかく、閑静な住宅街の一角にあった。四囲にうっそうたる樹木を茂らせ、やや古びてはいるが、堂々たる構えのお屋敷だった。そのはずである。友田家といえば、先代が友田電器の会長として、関西経済界に名をはせた人物であり、深雪先生はその家付き娘だった。夫君はご養子さんだが現在は友田電器の常務として先代の遺業を継いでいた。しかし、そんなハイ・ソサエティの深雪先生とはちがいが、ニダースちかくいたお弟子さんたちは、そのほとんどがいわゆる中間階級に属する家庭の主婦やお嬢さんたちばかりだった。だから、週二回のお稽古日には、矢島・加藤両夫人も、不必要な気おくれやらコンプレックスなぞ抱かず、たいそう気らくに友田邸へ「通学」することができた。

友田邸の「お稽古」が、こうしたリラククスなムードにつつまれていたのは、ひとつには、草絵そのものの「お稽古」の性格にもよっていたが、それよりも、深雪先生の人柄によるところが多いようであった。

矢島夫人のみるところ、深雪先生には、上流婦人にあるがちな気位の高さや尊大さをぞみじんもなく、むしろいい意味での深窓の女性らしい淑やかさと、その育ちのよさからくる気さくさにあふれていた。そして、矢島夫人は、そんな先生の魅力にたちまちひかれてしまい、草絵以上に先生その人の熱烈なファンになってしまった

しかし、そうしてお熱をあげていくうちに、ふと、矢島夫人に気づくことがあった。それは、あれほどのチャームिंगな人柄とすぐれた素質を持ちながら、深雪先生の存在と草絵の価値がそのわりには、世間にアツピールしていない、という不満であった。これはファンにとっても、不本意きわまる話だった。

「ねえ、あなた。先生はもつと世間に認められてもいいと思うのよ。いまのままでは、なんとしても頼だわ。なんとかならないかしら」

夫の矢島氏にも、夫人はそんなグチをもらすようになつたが、矢島氏は妻の「のほせぶり」にいささかへキエキしながらも、愛妻家の寛大さをいっばいにあらわしながら言った。

「そりゃね。こういう仕事は、神戸じゃ駄目だよ。やっぱり、中央に進出しなきゃね。それに、うまくマスクミに乗ることだよ」

そういつてから、しかし、氏はふと、なにか思いついたように、大きくうなづいた。

「うむ。そうだ。いいプランがあるぞ。ものは試しだひとつ、やってみようか」

矢島氏の大学時代の親友の一人が、東京のPテレビ局に勤めていた。それで氏は思いだしたのだが、このP局では目下「私をあてて下さい」というクイズ番組が、二十何%だかの最高の視聴率をあげていた。ホンモノ・ニセモノとりまぜた出演者のなかから、ゲストたちがいろんな質問を発しながら、ホンモノをあてようという、まことにタワイのないクイズ番組だったが、矢島氏は、この番組に深雪先生をだそうと考えついたのである。

氏はさつそく東京のP局に長距離電話し、友人を呼びだして、深雪先生の売りこみにかかった。

ところが、先方でも、意外なほど大乗気度で、氏の売りこみに乗ってきたのだ。この種の番組のむつかしさは、話題になりそうな出演者をつつだす苦勞にあった



ちようどP局でも、そろそろ出演者がタネ切れになりそうな時機にぶつかっていたのだ。まことにタイミングがよろしかった。

すぐさま、P局では、来々週の公開放送に出演してほしいと言ってきた。さア。そうなると、こんどは矢島夫人のほうがあわてふためいてしまった。なにぶん、肝心の先生には無断で申しこんでいたのだ。それに、来々週といえば、あと半月の余裕しかない。



Mag. Ochi

ともかくも、矢島夫人は、鼻のアタマに汗をかきかき大至急、友田家へ伺候した。だが、さらに困ったことに先生がどうしてもウンと言ってはくたさらないのだった。

もともと、万事にひかえ目で、名利には淡泊すぎるほど、テンタンとした先生だった。そんなテレビ出演など大仰なことはどうかカンニンしてください、と、先生のほうから両手をついてあやまられると、矢島夫人も、もうかえす言葉もなかった。

やむをえない。夫人は夫を通して、また大至急、P局へ出演中止の電話をかけた。だが、そんな電話ぐらいでおとなしくひきさがる相手ではなかった。P局ではすでに当日のスケジュールを組んでしまっており、この機に及んで出演者の変更は不可能だと言うのだ。

「でも、そこをなんとか、他の方にかわっていただけないでしょうか。お願いです！」

こんどは、矢島夫人みずから送受器を握って、オロオロ声で懇願していったが、その夫人の耳にトテツもない返答がかえってきた。

「じゃ、どうですか。友田先生が駄目なら、奥さん。あなたが出演してください」

「エッ!?このあたくしが?」

「そうです。どっちだって、わかりやしないですよ。あなたも『草絵』をやっつけていらっしやるんでしょう? だったら、けっしてインチキじゃなし、文句ありませんよ」

この一種暴力的とも言える、むちゃくちゃな返答が、しかし、それまでただうろろうろたえるばかりだった矢島夫人の心に、ふいに、猛然たる斗志のようなものをかきたてさせたのである。

「そうですか。よくわかりましたわ。あたくしが出演するくらいなら、先生の首に綱をつけてでも、東京へお連れしてみせますわ」

夫人は気づかず、このとき、夫人はうまうまとマスコ

ミのベースに乗せられていたのだった。

早いもので、あれからもう三カ月。

きょうもお稽古日だったので、矢島夫人は加藤夫人と誘いあわせて、須磨の先生のお宅にでかけていった。

だが、先生はお留守だった。一、三日まえから、四国の松山へ出張教授にでかけていらしたのだ。なんだか冷たい秋風が吹くように、矢島夫人の心中はさびしかった。

しかし、きょうだけではない。三カ月まえ、それこそ先生の首を綱でひっぱるようにして、やっこの思いで東京のテレビに出演させてからというもの、先生はにわか

に東奔西走のいそがしい身になってしまった。

テレビ出演は大成功だった。全国各地から先生の出張教授をたまわりたいという依頼が殺倒しだったのであるかてて加えて、これはテレビのせいかどうか不分明だったが、ミチコサマが先生の草絵をたいそうお気に召して過日、ついにお買ひあげの柴に浴することになった。とたんに、先生の作品の市価は三倍に跳ねあがってしまった。

「さすがに、えらいものだね、」

矢島夫人は、わがことのように、加藤夫人と喜びあつ

### \*神戸の催物ごあんない\*

#### ▷民族歌劇団わらび座公演

11月19日～22日 PM6.30 20日のみPM7.00  
主催/労音 会費¥240 追加金¥110 第1部—アジアに昇る太陽(中国 朝鮮 ヴェトナムの歌と踊り)第2部—夜明けへの鼓動(日本の歌と踊り) 於国際会館

#### ▷第26回全国労音招へい海外演奏家ベートーヴェン・テクルス追加例会 ゲヴァントハウス弦楽四重奏団公演

11月16日 PM6.30 主催/労音 会費¥240 追加金¥260 於国際会館



ジャムセッションのトランペット奏者、ケニー・ドーハム

#### ▷ベートーヴェン連続演奏会第4回

11月17日 PM6.30 18日 PM7.00 主催/労音会費¥240 追加金¥160 演奏—大阪フィルハーモニー交響楽団 指揮—朝比奈隆 於国際会館

#### ▷第1回ジャムセッション公演

11月10日 PM7.00 主催/神戸新聞会館 提供/I.B.C 入場料 S¥1500 A¥1200 B¥1000 C¥700 於国際会館

#### ▷中国青銅器・陶器・漆器展

10月20日～11月23日 毎日 AM10.00～PM4.00 月曜休館 入場料大人 ¥50 学生¥30 中学生以下¥20 於白鷺美術館

#### ▷劇団四紀会第8回公演「龍撃潭」

11月16.17日 PM6.15 会費一般¥200 学生¥150 作—老舎/訳—臧波 演出—北島三郎 於海員会館

#### ▷神戸女子葉大美術部展 11月6日～11日

▷福田好志花井一生展 11月12日～17日  
入場無料 於ナショナルギャラリー

たものだが、しかし、そうして手放しに喜んでばかりもいられぬ事態が、ちかづいてくるようであった。

側近のお弟子さんの話によると、先生はちかぢか東京への進出を考えていらつしやると言う。すでに旦那さまのご内諾もえて、東京の赤坂あたりのレジデンスの一室を物色中で、月のうち半分は東京ですごされることになるらしい。そうなると、神戸の自宅には、ますます不在がちという状態になるだろう。

「ああ——」

と、矢島夫人の口から、ちからのない嘆声もられた。悲しいような、うらめしいような、なんとも名状しがたい思いだった。

「矢島さん。あなた、きょうお月謝持っていらつした？」

加藤夫人が小声でたずねた。

「ええ。持ってきたわ」

矢島夫人は、ハンドバッグのなかから、封筒にいれた「お月謝」をとりだした。その月謝も、この月から倍増の二千円になっていた。一瞬、矢島夫人は、ほろにがそうな表情で、その「お月謝」の封筒を、側近のお弟子さんにそつと差しだすのだった。

(この項終り)



## 愛読者 サロン



ことをよく知っていますし、神戸の街をたいへん愛しているようです。(姫路市八代南町一六七 西博)

★ 拝啓「神戸っ子」は毎月楽しく拝読しております。さて、私の知人で今度ドイツから来られたアナさんという人についてちょっとお知らせします。この方はもう中年のご婦人ですが少女時代の十年間を神戸へ訪ねてこられました。毎日現在須磨の海浜公園の一部になっている彼女の曾「太郎跡」へ行ってみたいと思っ

た出の街を散策したりして故郷の香りを懐かしんでおられます。生まれたところは京町25番地ですが今ではその付近一帯はすっかり変わってしまい、どうしても自分の生れた場所が分らず空しくオリエンタルホテルへ帰ってみたら、何とホテルの建っている場所が京町25番地だったと感慨深げに語ってくれました。彼女は昔の神戸の

★ 10月号拝見。ポケットジャーナルを読んでいて「エプロン」を創作なさっている方のごことを知りまして私もやはり女性、日頃からエプロン創るのが大好きで自分で工夫したものを身につけて楽しんでおります。

今度、赤根夫人がなさる「花のエプロンショー」はぜひ拝見させていただきます。エプロンは女性の象徴だと思えます。今度のショーがそういう意味で日本の家庭に浸透し、より健康で美しくユーモアのある「エプロン美人」が続出するとどんなにスバラシイでしょう。ご近所の奥さまたちにも「神戸っ子」のこの記事を見せました処、希望者が多く、総勢5人で出掛けることにしました。(東灘区 主婦 柏原佐代子)

## 発行にいろいろと お世話いただいた方々

青安 朝比 荒浅 石砂 乾砂 有野 岡岡 岡岡 岡岡  
小曾 根崎 崎崎 尾田 並野 野岡 岡岡  
一真 伊真 吉将 正成 豊 信長 重正  
夫造 忠子 一朗 夫一 明彦 仁道 平晃 隆雄 夫夫

田滝 竹砂 白坂 阪古 後上 小小 木嘉 川金 大  
宮川 中田 川口 本林 藤林 磯下 納西 井淵  
虎勝 重 干 喜末 英芳 良 正 元ツ  
彦二 都民 渥雄 勝楽 二一 夫平 繁治 英彦 ム

神山 若百 宮宮 松福 深畑 原野 中直 永田 田田  
青口 杉崎 地崎 井富 水 口沢 西木 井中 中村  
年会 泰 辰 裏辰 高芳 惣 忠 幸 太 達 健 寛 孝  
議所 弘 慧 雄 二 雄 男 美 吉 郎 郎 勝 郎 七 郎 次 介



## 編集 後記



★ 神戸の町づくりの一端を担う三宮地下街の工事は順調に進み、昭和40年10月1日には竣工する。この地下街は神戸っ子にとっても気がかりなことである。そこで、森垣常務さんの様子をお伺いし実際に工事現場も保護帽をかぶって見学。

★ 先号の「神戸の文化をどうするか」については、10月12日付毎日新聞神戸版の月曜評論の欄で、細川隆一郎支局長が「神戸文化推進協議会」を結成せよと呼びかけ、読者の議論として得た文化団体は相互に手をさし合って「神戸文化推進協議会」ということが一般に紹介された。なお、この神戸文化の核づくりは実際にその第一歩を踏み出すように企画がすすめられている。

★ 秋の獅子台地にある六甲工專のラクービー場を訪ね、野村一高先生の取材に行く。凝りに凝る西村カマランの注文で猛烈なダツシユを十数回、野村先生「こりやあ、試合よりシンドイ。(小泉 康夫)」

★ 本号の特集、コースの紹介は、まよまえから温めていた企画では、いろんな角度から神戸のコースをとらあげてみました。お友達やお客さんに神戸を案内する時、どうぞこれをご利用ください。(松原 新一)

★ 岡部伊都子先生が京都へ居をお移しになった。青谷のお住いの床の間に「琴の爪」が飾られていたことが懐しく、ゆかしいお人柄に、神戸の地でお目にかかれないうことが残念です。(小泉美喜子)

(奥村智恵子)

## 神戸っ子 ごあんない



★ 月刊「神戸っ子」を毎月お読みになりました皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室までにお申込みなれば、さっそくお送りいたします。

6ヶ月分 六五〇円

1年分 一三〇〇円(送料共)

★ 月刊「神戸っ子」に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして「神戸っ子」がおかれています。

★ 月刊「神戸っ子」をお買い求めの時には左の本屋さんどうぞ。

大丸 三書館 神戸 大丸五階  
漢口堂 書店 京町 筋 角  
流泉 書房 センター 街

文 洋 堂 国際会館1階  
日 東 館 大 丸  
第一書房 元町通1丁目  
海 文 館 元町通3丁目  
宝 文 堂 元町通5丁目  
甲 南 堂 国鉄本山駅北口  
小 盛 館 阪神御影南側  
小原光文堂 国鉄住吉駅北口

★ 神戸百貨会の事務局も月刊神戸っ子内にあります。

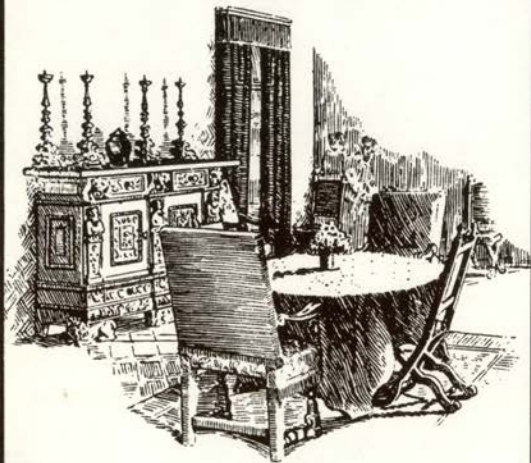
★ 月刊「神戸っ子」に広告を掲載して、お店を、又商品をご紹介なさりたい方は、月刊「神戸っ子」編集室へお申込みください。

★ 神戸百貨会の事務局も月刊神戸っ子内にあります。

月刊「神戸っ子」NO. 44  
発行/昭和39年11月15日  
編集・発行/小泉康夫  
発行所・月刊「神戸っ子」編集室  
神戸市葺合区磯上通5丁目  
3の5 大和ビル4階  
TEL ②8781 領価90円



家具・室内装飾・工芸品



# 永田良介商店

大丸前 TEL { 39 3 7 3 7  
                                      } 3 7 3 9

創業明治四年

味噌漬・相煮  
大井の神戸肉  
\*

## KOBE BEEF



# 大井肉店

本店 神戸市生田区元町7電39 1 0 4 6 ・ 4 7 8 0  
直売所 阪神百貨店・大阪三越・三宮そごう・神戸三越  
伊丹日本航空・塚本ライフ・豊中ライフ・伊丹エース

# プロムナード 神戸



ショッピング・バッグに夢がいっぱい。この足どりで  
センター街へ。



雨の中をショッピングに向かう。大丸前交差点にて。



道。町のなかの道。  
 くるまが流れ 人が流れ、  
 道はさらさらと  
 雨に光る。  
 花模様の傘の下で  
 ふりむいたあなた。  
 散歩道。アーケードのある散  
 歩道。  
 どこからかメロディが流れ、  
 華麗なショウ・ウインドウ  
 並び、  
 風船のように  
 夢をふくらませるあなた。  
 ブロムナード。雑沓のなかの  
 ブロムナード。  
 にぎわいのなかに  
 人々はまぎれいり  
 そこが  
 都会の表情になる。  
 やがて群衆のなかをぬけて  
 ひとり  
 喫茶店に消えたあなた。



さっそうと元町を行く神戸っ子。



喫茶店で憩いのひとときを終えて  
 トア・ロード。





**Hino**

高性能の日野

日野

**レンジャー**

兵庫日野ディーゼル株式会社

TEL ③4 7651

コンテッサ・ルノーのご用命は  
神戸日野モーターへ

TEL ③4 5771~5



ほほえみ・やすらぎ  
・しあわせ

■ 百店会でのお買物は神戸銀行のホーム・チェックをご利用ください

● すまいる預金 ● ホームプラン預金 ●

 神戸銀行



《安全設計》だから  
ご愛用 日本一!

- 精巧で確実なサーモスタット（自動温度調節器）が要所、要所に装置され安全です。
- 独創的な配線（頭寒足熱式）で、強く毎日折りたたんでもビクともしません。
- お手元のコントローラースイッチで、寝ながら自由に温度が調節できます。



ホーム電気毛布  
DB-22 100V-120W

現金正価 9,200円 月賦定価 9,500円

眠っている間に 健康になる…

**ナショナル** 電気毛布